

日本植物園協会ナショナルコレクション申請書

新規申請

更新申請（認定番号 認定期間 年 月 日～ 年 月 日）
（いずれかに）

■申請年月日 2018年 9月 20日

■コレクションのテーマ

兵庫県立フラワーセンターストレプトカーパス属コレクション

■申請団体・申請者名

兵庫県立フラワーセンター

■申請団体の代表者名（個人での申請の場合は不要）

非公開

■申請団体・申請者の連絡先（住所、電話、メールアドレス）

非公開

■コレクションの所在地（コレクションが分散している場合は主たる所在地）

兵庫県加西市豊倉町飯森 1282-1

兵庫県立フラワーセンター

■現地審査希望時期

2019年 3月 1日 ～ 年 月 日

希望する理由：

開花始期にあたるため

■コレクションのテーマ

兵庫県立フラワーセンターストレプトカーパス属コレクション

■コレクションの概要

ストレプトカーパス属（旧セントポーリア属を除く）は、アフリカ大陸とマダガスカル島を中心に約 150 種の原種が自生しているイワタバコ科の多年草で、わが国では大正時代から栽培されていた。1980 年代に流行したセントポーリアに続く室内観賞用植物として注目されたが、当時市場に出回る園芸品種は海外から導入された一部の限られた品種であり、脆弱で日本の気候条件では栽培の難しいものが多かった。さらに青、赤紫、白が主体で花色の変化に乏しく、葉が長すぎて株全体のバランスが悪く輸送中に葉が傷みやすいなど、鉢花として普及させるには課題が多く見られた。

兵庫県立フラワーセンターでは、ストレプトカーパスを普及させることを目的として、同属の原種・栽培品種を国内外からできるだけ導入して育種素材としての特性を評価するとともに、栽培特性の解明と栽培管理技術の確立を目指した。同時に、それまで育種に利用されていなかった原種や有望な栽培品種など、優れた形質、性質をもつと評価した素材を利用して交雑育種を進め、鉢花に適した新たな園芸品種を作出した。

1994 年に‘ラズベリーサンダー’を使った花卉にブロッチの入る‘バーゴ’を、1995 年および 1997 年には、草姿を改善した‘オパール’および‘朝霧’を、2002 年に‘テキサスホットチリ’を利用して作出した多花性の‘ティアンドティレインボウ’シリーズを、2008 年にリリプタナ種を用いて、3 号鉢仕立てが可能なミニ品種の‘リトルカン’を育成した。さらに八重咲、フリンジ咲など、花型に変化のある系統や、濃色系や覆輪、黄色の系統など、既存の栽培品種にはなかった多様な花形、花色の系統も育成した。

通称セントポーリアは東アフリカのタンザニアの北部とケニアの南部の限られた地域に 10 種の野生種が自生しているイワタバコ科の多年草で、現在はストレプトカーパス属に分類されている（Nishii *et al.* 2015）。近年は自生地環境が悪化し、自生地での生育が確認できない種類がみられる。また、セントポーリアの愛好家や生産者が減少していることから、生育域外保全もされていない原種も多く、加えて栽培品種も消失の危機にさらされている。そのような状況の中、当園では原種や栽培品種を愛好家や生産者、研究機関などから導入し、保全している。

セントポーリアは他の属に先駆けて室内観賞用植物として普及していたが、近年新たに作出された園芸品種の花姿や草姿が変化に乏しかったことから、新たなタイプの栽培品種を作出することを目的として、これまで交雑に使われていなかった上弁と下弁の 2 色咲きのゴエゼアヌス種を導入し、ゴエゼアヌス種の栽培特性および開花習性の解明と栽培管理技術や交雑について研究した。ゴエゼアヌス種とイオナンタ種、シュメンシス種およびティテンシス種の 3 種と交配した結果、交雑できなかったため、不和合であることがわかった。

今回申請するストレプトカーパス属コレクションは、旧セントポーリア属を含めた原種、栽培品種 188 種類であり、そのうち 57 種類が兵庫県立フラワーセンターの育成品種である。これらのストレプトカーパスを保全することは、同属の原種が持つ形質や性質の多様性、それらと栽培品種との遺伝的な関係性などを理解する上での基準となるだけでなく、貴重な遺伝資源としてさらなる品種の開発につながるものである。

引用文献 : Nishii, k., Hughes, M., Briggs, M., Haston, E., Christie, F., J. DeVilliers, M., Hanekom, T., G. Roos, W., U. Bellstedt, D., & Möller, M.(2015) Streptocarpus redefined to include all Afro-Malagasy Gesneriaceae: Molecular phylogenies prove congruent with geographical distribution and basic chromosome numbers and uncover remarkable morphological homoplasies. TAXON64(6)・December2015:1243-1274.

■申請者が保有するコレクションの種数、品種数、個体数（保有植物リストおよび写真は、別紙「保有植物リスト・写真ファイル作成要領」にしたがい提出）

原種：41 種、19 亜種、2 変種。

栽培品種：126 品種（兵庫県立フラワーセンター育成品種 57 品種、導入品種 69 品種）
計 188 種類

1 種類につき 1 株以上、脆弱で増殖が難しい種類については 2 株以上保有

■申請するコレクションのこれまで報告されている総数と申請者が保有する数

The American Gloxinia and Gesneriad Society はイワタバコ科の主要な属ごとにレジスターを発行しており、1999 年に出版されたストレプトカーパス属（旧セントポーリア属を除く）レジスター（The Gesneriad Register）には原種、栽培品種あわせて 1045 種類が登録されている。同協会は 2006 年に The Gesneriad Society に名称変更され、2017 年に Web 上でレジスター（The Gesneriad Registry）を公開した。ストレプトカーパス属レジスターには、The Gesneriad Register 発行後に育成された栽培品種 549 種類が登録されていることから、合計で 1,594 種類である。

それらの登録のうち、当園では 97 種類（原種 37 種、12 亜種、栽培品種 48 品種）を保有している。

旧セントポーリア属は、The African Violet Society of America が登録機関で、2015 年に発行した CD-ROM 版レジスター(African Violet Master List of Species and Cultivars) では、原種群 29 種と栽培品種あわせて約 15000 種類が登録されている。

それらの登録のうち、当園では 25 種類（原種：3 種、7 亜種、2 変種、栽培品種 13 品種）を保有している。

■コレクションの栽培管理状況（所在地が分散している場合は、ここに全てを列記）

当園のバックヤードで鉢植え栽培している。展示担当者を中心に、挿し木、播種、移植、採種等の管理を継続的に行い、花期に展示温室内に展示している。

■コレクションの導入記録及びデータベース化の状況

2003 年以降の導入記録は揃っているが、それ以前の記録は抜け落ちている箇所がある。デジタルファイルで管理している。

■コレクションのラベル表記状況（栽培管理用ラベルや展示用サイン・ラベルなど）

展示では正確なラベルを設置するようにしているが、栽培時には簡易な表記をしている。

■コレクションへの協力団体・協力者（種名の同定、導入など）

元兵庫県立フラワーセンター園長で、赤穂ジェスネリアード代表である奥藤敏二郎氏に種名の同定および導入などの協力を仰いだ。

■コレクションの長期保存のための方策と体制（増殖、栽培管理上の工夫、栽培技術者や後継者の育成、危険分散等）

脆弱で増殖が難しい種類については、できるだけ増殖して1種類につき2株以上を保有するよう努めており、国内の植物園や個人愛好家等にも分譲している。一稔性の原種については種子を採種し保存している。

ストレプトカーパスの栽培品種は種類により寿命が異なるが、1～3年ごとに葉挿し、茎挿しなどで更新し保全している。

■コレクションの公開の現状と今後の方針、これまでの広報・利用実績（研究等を含む）

大温室内のゲスネリア室において一年を通じて開花した株を展示するとともに、本コレクションを用いて、当園の特別展示「ストレプトカーパス展」を毎年10月に温室内で開催し、通例約100品種約200株を展示している。

奥藤敏二郎 (1993) ストレプトカーパスの新しい品種の育成. 新花卉 160号 pp. 70-72.

廣瀬健司 (2007) セントポーリア・ゲッツィアーナの開花について. 日本植物園協会誌 41:118-120.

Hirose, k.(2007) Growing gesneriads in Japan. GESNERIADS 72(2): 32-33.

Hirose, k.(2009) Growing and Flowering Saintpaulia goetzeana. AFRICAN VIOLET MAGAZINE 62: 12-14.

廣瀬健司 (2015) セントポーリア・ゲッツィアーナ(イワタバコ科)の栽培と開花および交雑について. 日本植物園協会誌 50:133-136.

※認定されたナショナルコレクションの情報（非公開および個人情報を除く）は、日本植物園協会のホームページ上で公開し、また報道資料等、当協会のナショナルコレクションに関する事業に使用できるものとします。その他の情報の公開や使用については、申請者との協議によって決定することとします。以上の使用範囲に同意の上、申請をお願いします。